学校番号	1006

令和８年度　理科

教科	理科	科目	実用科学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校の理科の復習から入り、実用的な科学につなげていく。
身近な生活に関わる科学なので、理科全般が苦手な生徒でも取り組みやすい内容になっている。
実習や実験にも取り組み、科学的探究心を育みたい。

2　学習の到達目標

・日常生活における科学情報を正しく受け止める力を身につける。
・日常に潜む科学について興味関心をもち、自ら探求する力を身につける。
・様々な観察や実験を通し、科学的思考力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	高度な科学的現象に対して探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。 物理現象に関して、興味を持ちそれらの特徴について理解している。	実用的な科学に対して、探求を行い自らの考えを式や文章を用いて、表現することができる。 身近な様々な科学現象から自らの考えを表現することができる。	自然の事物・現象に積極的に関わり、自ら科学的に探究しようとする態度が養われている。 科学的思考力や、物理的思考力を用いて実用的な科学に対して興味・関心を持っている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物範囲	様々な生物の特徴 遺伝とDNA 医療と免疫 植生と遷移	a:様々な生物の比較に基づいてDNA の特徴を見出し理解している。 a:生態系における生物多様性を見出し理解することができる。 b:ヒトの体の調整について、観察、実験などを通して探求し、調節や免疫などの特徴を見出し表現することができる。 c:生物現象に主体的に取り組み、科学的に探究する態度と生命を尊重することができる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 実験レポート	ノート ワーク活動
2学期	化学範囲	様々な元素 化学反応と中和 物質量 中和滴定	a:元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族と周期との関係について理解している。 a: 物質量と粒子，質量，気体の体積の関係について理解している。 b:元素の周期律や元素の性質について価電子の数の規則性と関連付けて考察できる。 c: 学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 実験レポート	ノート ワーク活動

3学期	物理範囲	等加速度直線運動 力と運動 電流	a:加速度と変位の関係について理解している。 a：キルヒホッフの法則の法則について理解している。 b:等加速度直線運動の v-t グラフや x-t グラフを用いて様々な運動を表現することができる。 c:電圧と電流の関係について、興味関心を抱き、実際の生活ではどのように用いられているか考えることができる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 実験レポート	ノート ワーク活動

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度